

2024 年度 事業計画書

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団

2024年度 事業計画書

1. 視聴覚障がい者の日常生活の支援及び生活支援の援助者養成

(1)手話放送の制作支援

「NNNニュースサンデー」に出演する手話通訳士の派遣事業。当該番組は、毎週日曜日午前6時15分～6時30分の全国放送ニュースです。

聴覚障がい者の方々への情報サービスの一助として、手話通訳を画面右下にワイプで挿入しています。2024年度も東京都聴覚障害者連盟から推薦を受けた4名の手話通訳士がローテーションを組み、年間52回の手話放送に携わる予定です。

(2)点字カレンダーの製作及び無料配布

点字カレンダーは、1976年より製作し全国に無料配布して以来、47年間続けている基幹事業です。2024年度も2025年版として写真付き点字カレンダーを製作し、関東を中心に全国の施設や個人に約2万部、さらに日本テレビのネットワーク各社の協力を得て全国各地域にも約2万部を無料で配布します。

点字カレンダーには、月ごとに美しい写真と、点字でも表記した写真の解説文が添付されており、晴眼者と視覚障がい者とのコミュニケーションを促す願いが込められています。2025年版として配布する点字カレンダーのテーマは「風景を感じる」の予定です。製作と配布は、社会福祉法人日本点字図書館の協力を得て実施しています。

(3) ラジオから視覚障がい者支援のための情報番組を発信

視覚障がい者に対して晴眼者がどのように接すれば良いのか、また、日々の生活の中で、視覚障がい者は、何を必要としているのか等を考える上で参考となる情報を発信し、視覚障がい者と晴眼者が共に生きていける社会の実現を目指す番組で 11 年目を迎えます。放送はアール・エフ・ラジオ日本で毎週土曜日午前 8 時 15 分からの 15 分間、メイン・パーソナリティは日本テレビの杉野真美アナウンサーです。

また、番組連動企画として、視覚障がい者のための「音声図書」を日本テレビ・アナウンサーの協力を得て 2022 年 3 月から製作を開始し、これまでに 3 冊の「音声図書」を完成させました。2024 年度も製作を続け、日本点字図書館の音声図書ネットサービス図書館「サピエ」、CD の貸し出しにより提供していきます。

(4) 障がい（視覚・聴覚）のある生徒のための進学支援制度

障がい（視覚、聴覚）のある生徒を対象として、修学の意欲と能力があるにもかかわらず、経済的事由により大学や専門学校、短期大学への進学が困難な生徒に進学時に必要な経費を支援する制度。進学一時金として、1 人一律 80 万円を給付し、返済は不要です。2022 年度からスタートして 2024 年度も引き続き実施します。

申請者の中から、5 人の理事による「進学支援選考委員会」による審査の上、2024 年度は 2023 年度の審査で内定者とした 23 名から、志望校に合格し実際に進学した学生に支援金を給付します。その時々予算の状況により人数の増減はありますが、引き続き進学を希望する障がい者の支援に努めます。

(5)手話スクールの開講と手話の普及事業

「手話スクール」は、手話ができる人を増やし、聴覚に障がいのある方々への生活支援に貢献していただくことを目的に、1975年から授業料無料で開講している基幹事業です。

2019年度からは、2年間の基礎編の講座に加えて、3年生（上級編）の講座を開講しました。その目的は、手話の習熟度をさらに高めて、手話を生かした活動や本格的に手話通訳者を目指す人は、そのための講習会を受けなければなりません。その講習会を受けるには、最低3年間の手話の学習経験が必要となります。以前は、2年間の授業を終えた後、更に別途1年間の講習会に通う必要があったことから、その人たちのために新たに3年生の講座を開講したものです。

2024年度は、土曜日に神田やお茶の水の会議室で、1年生（48期生）49名、2年生（47期生）38名、3年生（46期生）32名が参加し、1年間25回の授業を行う予定です。

・ 1、2年生 講師：田原 直幸 ・ 3年生 講師：久住呂 幸一

*助手3名

(東京手話通訳等派遣センターより派遣)

2. 視聴覚障がい者を支援する団体 その他の助成

(1)角膜移植・再生医療への助成

視覚障がい者治療に貢献することを目的に、複数の大学病院の角膜移植・再生医療の支援ならびにアイバンクの普及・活動支援と啓もうのためのチャリティー活動イベント「PARTY FOR VISION」への助成。

助成先：移植・再生医療を支える会

(2)聴覚障がい児の学校への助成

団体生活へのスムーズな順応を図ることを目的として、耳の不自由な生徒約 50 人～60 人が参加する夏期郊外学習への助成。

助成先：学校法人 日本聾話学校

(3)視覚障がい者福祉DVDの製作及び生活支援活動への助成

目の不自由な方々を援助する人材の指導・育成のためのDVD教材製作への助成。また、同じ目的で行う地方講演会にも助成します。

助成先：社会福祉法人 日本視覚障害者職能開発センター

(4)「盲人との接し方」ガイドブックの製作への助成

小冊子「盲人に接する人々のために」1万部の製作と配布への助成。援助者が、盲人と一緒に歩く方法や危険物の扱い方などを学ぶ内容です。

助成先：社会福祉法人 日本視覚障害者職能開発センター

(5) 点字技能検定事業への助成

日本盲人社会福祉施設協議会が行う点字技能検定試験への助成。受験にかかる費用の一部等に使用されます。

この検定試験の目的は、点字関係職種の専門性と認知度を高め、点字の普及と点字の質の向上を図ることにあります。合格者は、厚生労働省が認定する「点字技能師」の資格を取得し、視覚障がい者施設・団体、専門学校等の講師として活躍しており、点訳・点字校正・点字指導を行っています。

助成先：社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会

(6)視覚障がい者ケア専門技術認定講習会への助成

全国の各種老人ホームの職員や在宅福祉に携わるヘルパー等を対象に、視覚障がい者に対するケア技術の向上や、介護職員への指導者の養成を目的とした講習会への助成。講習会にかかる費用の一部に使用されます。

助成先：特定非営利活動法人 全国盲老人福祉施設連絡協議会

(7)その他の助成

- ・聾者の団体が主催する野球大会に優勝・準優勝楯を贈呈

助成先：全日本ろう社会人軟式野球連盟

- ・視覚障がい者が参加するブラインドテニス大会への助成

助成先：日本ブラインドテニス連盟

- ・チャリティー映画会開催に助成

映画のチケット購入

助成先：社会福祉法人日本聾話学校、社会福祉法人日本点字図書館

- ・本間一夫文化賞に助成

本間一夫賞とは、日本点字図書館創立者の本間一夫氏（故人）を記念し、視覚障がい者の文化の向上に関する分野で優れた業績をあげた個人・団体を顕彰するために設けた賞 記念品代の助成

助成先：社会福祉法人日本点字図書館

- ・東京都盲人福祉大会に助成

助成先：公益社団法人 東京都盲人福祉協会

- ・失明原因の解明と失明予防・知識の普及と啓発

助成先：公益財団法人 日本失明予防協会

- ・東京都社会福祉協議会関係会費

助成先：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

など視覚、聴覚障がい者のための生活支援や、支援団体への助成を予定しています。

3. 文化及び芸術に関する各種の公演、講座等

(1) 「グランプリ・コンサート2024」 (公財)日本室内楽振興財団と共催

若手演奏者の登竜門として3年に1度開催される「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」の優勝者を招聘して開催するコンサート。2024年度の演奏者は第二部門ピアノ三重奏/四重奏で優勝した「カピバラ・ピアノ・クアルテット」(独)です。

・開催日予定日

11月17日(日) 東京 トッパンホールにて

(有料 入場料 3000円予定)

(2) 「想いでの詩^{うた}コンサート2024」 企画・主催

世代やジャンルを超えて歌い継いでいきたい日本や海外の名曲を送り届けるコンサート。全国各地を訪問し、地元の少年少女合唱団がプロの歌手と共演することが大きな特徴です。2024年度のコンサートも1960年代から70年代の名曲を中心に構成する予定で、幅広い世代に音楽の楽しさと素晴らしさを伝えます。

・開催日予定日

11月4日(月) 徳島県徳島市 あわぎんホールにて

(有料 入場料: 2000円予定)

(3) 「スクールコンサート」 企画・開催

その1) 視覚支援学校・盲学校でのスクールコンサートの開催

2022年度に日本テレビ小鳩文化事業団創立10周年記念事業の一環として、全国の視覚支援学校・盲学校で始めたスクールコンサートを2024年度も継続して行います。視覚障がいのある生徒の皆さんに、プロのライブの音楽に直に触れていただき、音楽の楽しさを伝えます。

・開催予定日

10月3日 香川県立視覚支援学校（高松市）

11月28日 石川県立盲学校（金沢市）

その2) 中学生を対象にしたスクールコンサートの開催

次代を担う中学生をメインの対象に、一流のプロの演奏家や歌手のライブの音楽に触れる機会を創り、時代やジャンルを超えて様々な音楽の名曲を楽しんでいただくコンサートです。

また、演奏を聴くだけでなく、地元中学校の吹奏楽部や地元少年少女合唱団が、プロの演奏家や歌手と共演する「参加型」のコンサートであることも大きな特徴です。全国の中学校や、地元の教育委員会や市民ホールと協力して実施しています。

・開催予定日

10月23日 広島県 庄原市民会館 *庄原中学校吹奏楽部との共演

(4)「しょうみょう 聲明 公演」 企画・開催

日本音楽の源流といわれ、単旋律音楽に大きな影響を与えた仏教音楽「聲明」と西洋の楽器が共演する日本テレビ小鳩文化事業団が企画開発したオリジナルコンサート。毎回、好評をいただいておりますが、次回の開催は2025年度の方角で検討しております。

4. 文化及び芸術に関する事業、活動への助成

(1) 第76回 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に対する助成

中学生の英語力と弁論能力を高め、次代の国際交流の担い手を育成することを目的とした大会への助成。2024年度は76回目を迎えます。

助成先： 日本学生協会基金（読売新聞社協力）